

市報

やまぐち

昭和59年

12月15日

No. 898

さくら市

交通事故状況

種別	区分	11月		累計	
		本年	昨年	本年	昨年
発生件数		58	426	484	
死亡者		2	11	16	
重傷者		7	51	55	
軽傷者		64	458	520	

発行 山口市役所
編集 企画部広報課
印刷 高田印刷所



12月1日、佐山須川で歓喜や自然灾害から里を守る「山固め」の神事がしめやかに行われました。

山の入口にある松とイスの木に、地元の人人が作った弓矢をつがえ、山奥に向けて引き絞った形でしばり、しめ縄をはって猪や野兎が里に出てくるのを防ごうというものです。また、田畠を荒らすウンカやメイ虫のような稻の害虫を山に封じこめるという意味も含まれています。

有害獣を駆除する手段が原始的であったむかしの人々の素朴な願いがこめられたこの神事は、昭和55年に市指定の無形民俗文化財となっています。須川では5軒ごとの輪番により、毎年12月にこの行事を続けています。

山奥に弓矢を向けて

佐山
須川

山固めの神事

12月市議会(定例会)

開会初日に11議案を上程

昭和五十九年第四回市議会定例会は、十二月三日開会し、十八日までの会期で開かれていました。初日には上程された議案は、補正予算三件、条例五件、事件議決三件の十一議案です。なお、議会の初日に次のような市政概況報告をしました。

市政概況報告

当面している
財政事情

我が国の財政事情は、昭和五十九年度末には、公債の発行残高が百二十兆円を超える見込みであり、極めて厳しいものとなつています。今後、経済の着実な発展と国民生活の安定・向上のために、引き続き財政の改革を強力に推進し、その対応力の回復を図ることが緊急かつ重要な政策課題であります。そのため、政府におきましては、社会経済情勢の変化に応じて、また、政府においては、昭和六十年度の予算編成に当たる訳でござりますが、これからの国庫動向並びに本市の現状をより慎重に検討しながら取り組んでまいりたいと考えています。

一方、地方財政におきましては、昭和五十年度以降引き続きます。一方、地方財政におきましては、昭和五十年度以降引き続きます。



11月29日県教育会館で開催された山口線存続期成同盟会設立総会

十一月二十九日、



鎌田司郷土館(長沢池畔)

会結成三十周年記念公演(2日)
環分湯方式工事竣工式(30日)

まちづくりに関する

調査研究

めまいりますための作業グループいたしまして、(株)野村総合研究所が選定され、現在、市民及び企業を対象とした実態調査等の作業分析がなされているところであります。

調査研究の枠組みいたしましては、山口市の都市発展上の課題、二十一世紀将来社会と山口市、まちづくりのための条件

新潟県庁舎が完成した昭和五十九年も残すところわずか。

山口市においても、この一年いろんなことがありました。

年末に当たり、行く年を回顧し、来る年を期待して、今年の出来事を拾つてみました。

一月

▽未来型コミュニケーションモデル都市(テレポート)構想の指定に向け、県に陳情(6日)

二月

▽宮野の三社踊り・備立行列復活(27日)

三月

宇部フェニックスステ

クノボリス地域指定(24日)

四月

パークロード沿いに

亀山公園完成(2日)

▽パ

ンプローナ市長夫妻、山口を

岡藤康男市収入役就任(12日)

五月

▽山口のまちづくり懇話会初会

六月

▽仁保中水泳プール完成(31日)

七月

二十一世紀の森に銀山跡探訪ルート開設(1日)

八月

▽県知事選挙(5日)

九月

▽山口のまちづくり懇話会初会

十月

▽石津裕子選手、

合(10日)

▽五輪アーチエリーで4位(12日)

十一月

▽堀市長、入院(27日)

十二月

▽山陽自動車道黒河内山トンネル貫通(9日)

▽市教

育委員会体育課内に高校総体事務局設置(15日)

▽老人ホー

ム福寿園三十周年記念式(18日)

▽堀市長、退院(31日)

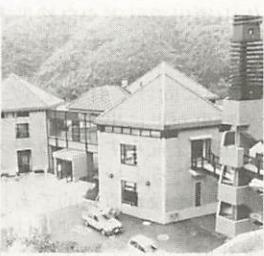
十一月

▽山口線存続期成同盟会設立(29日)

十二月

▽湯田温泉循環

ことしの出来事



山口ふれあい館(宮野)

■12月は、昭和59年度固定資産税第3期、国民健康保険第7期分の納期です。早目に最寄りの金融機関へ納入してください。

(3)

年末・年始 市役所の仕事



年末・年始は市役所の窓口も込み合います。書類手続きなどは早目に終えておきましょう

窓口事務

年末　十二月二十八日午後四時三十五分まで
年始　一月四日午前八時三十分から

ごみ収集(可・不燃物)

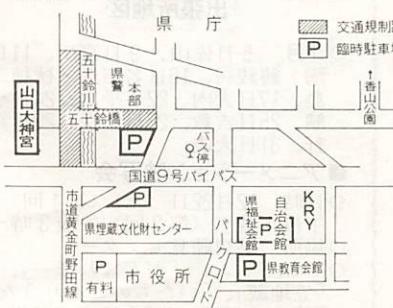
年末　十二月二十九日午後四時三十分まで
年始　一月五日から

大内管内不燃物処理場

年末　十二月二十九日午後四時三十五分まで
年始　一月五日から

年始　一月五日から
不燃物搬入整理券は、菅内

初詣の交通規制と駐車場



- 交通規制区域 ①県警本部前～稲梨氏宅前 ②市道黄金町野田線の国道9号バイパス入口～大神宮
- 交通規制日時 12月31日午後11時～1月1日午後6時、1月2日・3日午前8時30分～午後6時
- 臨時駐車場 上図「P」で表示する個所。図示以外の駐車場も大神宮近くに用意されますので、係員の指示に従ってください。

「私たちのまち山口」

鷺流狂言の記念公演

- 放映テレビ局 T Y S テレビ
- 放映日時 12月30日から1月20日までの毎週日曜日午前11時55分から正午まで(5分間)
- 放映内容 室町時代の文化を今にとどめる、無形文化財鷺流狂言保存会の結成30周年記念公演の模様を紹介します。



■年末年始の火葬場 市営火葬場(宮野下)は、1月1日のみ休業します。浄明苑は年中無休です。

山口線沿線の自治体及び民間団体等、官民一体となつた山口線存続期成同盟会を結成いたし、今後の利用促進はもとより、国、国鉄及び関係機関に対し強力に存続運動を働きかけていこうと存続運動を働きかけていこうとするものであります。

また、国鉄が来年一月十日から山陽本線CTC化実施運転業務に伴う駅の体制及び荷物営業体制の見直しによる合理化により、本市は、嘉川及び由良駅の停留所化と四辻駅の業務委託を実施する予定であります。当分の間国鉄職員を配置すると連絡を国鉄から受けているところですので、地域住民の利便性及び青少年非行化防止等を含め、県及び関係市町村と綿密な

連携をとりながら、対応してまいりたいと考えています。その後、県及び県地方労働委員会と緊密な連絡を保ちながら、問題の解決に努力されて来たところですが、労使双方の努力により十月初めごろから自主的な交渉がもたれるようになりました。

その後、十月十一日には会社側から一部について解雇撤回がなされ、一方、労働者側からは地方労働委員会があつ旋申請の取り下げが行われる等進展がみられます。

なお、立入検査ですが、去る十月上旬から山口公衆衛生協会を含めて各々数回にわたり実施しました結果、中間的には諸帳簿等の整理を初め、定額制、從

量制の区分が明確にされていない点、また事務的にも改善を要する事が見受けられましたので、指導体制を整備してまいりたいと考えています。

直ちにこれに対応する措置として、専任職員一名の配置を図る等、検査確認体制の充実を図つ

てまいりました。さらに、平素の活動として、市独自で現地の

調査を実施し、行政指導を行うと同時に、住民サービスの向上に努める所存でございます。

山口衛生事務所の労使紛争

労使紛争につきましては、その後、県及び県地方労働委員会と緊密な連絡を保ちながら、問題の解決に努力されて来たところですが、労使双方の努力により十月初めごろから自主的な交渉がもたれるようになりました。

その後、十月十一日には会社側から一部について解雇撤回がなされ、一方、労働者側からは地方労働委員会があつ旋申請の取り下げが行われる等進展がみられます。

なお、立入検査ですが、去る十月上旬から山口公衆衛生協会を含めて各々数回にわたり実施しました結果、中間的には諸帳簿等の整理を初め、定額制、從

量制の区分が明確にされていない点、また事務的にも改善を要する事が見受けられましたので、指導体制を整備してまいりたいと考えています。

直ちにこれに対応する措置として、専任職員一名の配置を図る等、検査確認体制の充実を図つてまいりました。さらに、平素の活動として、市独自で現地の調査を実施し、行政指導を行うと同時に、住民サービスの向上に努める所存でございます。

湯田温泉の泉源節約循環分湯方式が完成

湯田温泉の資源を大切にすることを目的に、湯田温泉配給協同組合(野原敏彦理事長)

で進められていた「湯田循環計量分湯(集中管理)方式」の工事が終わり、十一月三十日、竣工式が行われました。

循環計量分湯方式は、湯田温泉にある七本の泉源から湯をくみ上げ、これを貯湯槽に集め、新しく埋設した配湯管を通じて、組合加盟の七十軒の旅館や保養所に配湯する方



配湯、集湯の始終点となる貯湯槽

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| ○工費 設計料一千万円、工事費四億四千六百五十万円 | 昭和五十九年八月三十日完成 |
| ○配管延長 約五・七キロメートル | 昭和五十九年八月八日(国道横断工事先行) |
| ○貯湯槽 容量二百二十三立方メートル | |

■不要犬・猫の引き取り中止 12月27日(木)・1月3日(木)の不要犬と1月2日(水)の猫の引き取りは、中止します。

